

## 臨床研究（後ろ向き観察研究）開始のお知らせ

臨床研究（後ろ向き観察研究）を開始するにあたり、研究内容等をお知らせします。  
※後ろ向き観察研究とは、過去の診療データのみを利用して行う研究です。

患者の皆様へ

2021年4月26日

4S病棟

現在、4S病棟では「COVID-19患者に対して間欠的に実施した腹臥位療法の効果の検証」に関する研究を行なっています。

今後の治療に役立てることを目的に、この研究では” COVID-19 “の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

「COVID-19患者に対して間欠的に実施した腹臥位療法の効果の検証」

### 2. 研究の目的・意義

「本研究の目的は、軽症から中等症の COVID-19 患者に対する間欠的腹臥位療法の効果を検証することにあります。上記療法は、入院中における患者さんの息苦しさ等を緩和することにお役に立てるのではないかと考えています。」

### 3. 研究の方法

#### 1) 対象者

2020年10月1日～2021年4月30日までに4S病棟にCOVID-19で入院をした患者の中で重症化リスク因子があり腹臥位療法を行なった患者

#### 2) 方法

研究対象者について下記の情報を電子カルテより取得して過去の診療データのみを利用して効果を検証します。

- ① 年齢、性別、基礎疾患、身長、体重、体温、脈拍、呼吸数、酸素飽和度（SP02）
- ② 腹臥位を実施した記録、呼吸困難感の比較
- ③ 酸素投与期間、酸素投与方法

4. 個人情報取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に漏れることのないように厳重に管理します。  
研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しません。  
データ等は、立川病院4S病棟の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力いただけない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行なっています。

研究実施機関：立川病院

本件のお問い合わせ先：4S病棟 看護師 綿貫いづみ 042 (523) 3131

(平日9時～17時)